

授業改善のポイント 第4学年

話題に沿って必要な事柄を集め、選択する力を付ける

必要に応じたメモを書く

北山森林公園のおすすめの場所や活動について、パンフレットを使って調べて分かったことをメモにしよう。



- 【主なメモの種類】**
- ① 実物を観察して分かったことを記録するメモ
 - ② 詳しく知っている人に聞いたことを書くメモ
 - ③ 知りたいことについて書かれた本や資料から分かったことを書くメモ

調べたことをしょうかい文にまとめて、さんかん日に家の人にしょうかいしよう。

メモを整理・分類し、必要なメモを選択する

【メモの整理・分類の仕方】

- ① 内容別にメモ进行分类する。
- ② 同じ内容ごとに小見出しを付けてまとめる。
- ③ まとめたメモが自分の伝えたい内容に合っているか見直して、取捨選択する。

メモを書く時には、短い言葉で箇条書きにすると分かりやすいね。



<p>・ サ トイ 新しく、とてもきれい。</p>	<p>・ コ 広い駐車場 お客さんがたくさん来ても大丈夫。 公園を使う人はむりょうでちゆう車できる。</p>	<p>・ ケ 魚つりや魚のつかみどり 小川で魚つりができる。 つりざおがかりられる。 魚のつかみどりコーナーがある。</p>	<p>・ ク 植物や虫のかんさつ やすらぎの森のさんぼ道でかんさつできる。 植物や虫のかんさつができる。親子でいっしょに考えて答えることができる。</p>	<p>・ キ アスレチック遊び 森の中にある、五しゆるいのアスレチックコース。 大人にも子どもにも大人気。 タイムをきそって楽しめる。</p>	<p>・ カ ボール遊び 親子いっしょに、思い切り体を動かせる。 サッカーやドッジボールもできる。 ボールなどの道具がある。</p>	<p>・ ケ 魚つりや魚のつかみどり 小川で魚つりができる。 つりざおがかりられる。 魚のつかみどりコーナーがある。</p>	<p>・ カ ボール遊び 親子いっしょに、思い切り体を動かせる。 サッカーやドッジボールもできる。 ボールなどの道具がある。</p>
<p>二つのメモの共通点 = その他</p>		<p>二つのメモの共通点 = しぜんとふれ合う活動</p>		<p>二つのメモの共通点 = 思い切り体を動かす活動</p>		<p>「しぜんとふれ合う」活動から一つ</p>	<p>「思い切り体を動かす活動」から一つ</p>

同じ内容ごとに小見出しをつけて、1枚ずつ短冊の形にしたメモ

選んだメモ

段落の役割を理解し、文章を構成する力を付ける

内容のまとめりとして段落をとらえて書く

【文章構成を考えるために役立つ組み立て表】

組み立て表を使うと、文章全体がどんなまとめりで構成されるかが分かりやすくなる。

- ① 「始め—中—終わり」の三つのまとめりに、選択したメモを分類する。
- ② 「始め」と「終わり」には、対応した内容を書く。その際、「中」で説明したことを受けた「終わり」になるようにする。



「始め」の部分で話題を提示する。

《組み立て表》

終わり	中		始め
	中2	中1	
○ 《まとめ》 このように、……。	○ 《活動二》 からの活動	○ 《活動一》 からの活動	○ 《しようかいですること》 北山森林公園でできる、親子活動のテーマにぴったりの活動
「中」で、テーマに合った活動の説明をする。	「中」で、テーマに合った活動の説明をする。		「中」で、テーマに合った活動の説明をする。
このように、北山森林公園では、ボール遊びをしたり、魚つりや魚のつかみどりをしたりと、「親子いっしょに野外で遊ぼう」というテーマにぴったりの活動ができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアストレッチ遊び ・ 森の中にある五しゅるいのアスレチックコース ・ 大人にも子どもにも大人気。タイムをきそって楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カボール遊び ・ 親子いっしょに、思い切り体を動かせる。 ・ サッカーやドッジボールもできる。 ・ ボールなどの道具がある。 	わたしは、北山森林公園でできる、親子活動のテーマにぴったりの活動についてしようかいます。

「終わり」の段落には、「始め」と「中」の段落で提示された話題に対応する内容を書く。「このように」などの接続詞を使って文章全体のまとめを書く。

組み立てメモを使って紹介文の書き方を指導しましょう。その際、文章全体における段落の役割を理解し、段落相互の関係に注意して文章を構成できるようにする必要があります。

組み立てメモの段階で、テーマに沿った一貫性のある構成になるように指導しましょう。

資料を活用して記述する力を付ける

メモの内容を文章化する

【メモの文章化の仕方】

- ① 小見出しを基にして、段落の最初にその段落で伝えたい内容を一文で書く。
- ② 次に具体的な事例を書く。

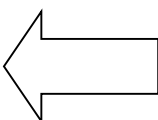
メモから文章にする経験を国語以外でもたくさんすると、スムーズに書けそう。



《紹介文の一部》

一つ目はボール遊びです。親子いっしょに、思い切り体を動かせる広場があり、サッカーやドッジボールができます。ボールなどの道具も用意されています。親子でなかなかよくボール遊びをして遊ぶことができますと思います。

指導が必要なこと①



小見出しを文章化し、段落の最初に一文で書くと、分かりやすくなる。

《メモ》

カ
ボール遊び
親子いっしょに、思い切り体を動かせる。
サッカーやドッジボールもできる。
ボールなどの道具がある。

指導が必要なこと

- ① 段落が変わったら改行し、一字下げる。
- ② メモに書いてある通りに書くのではなく、文末をそろえたり、分かりやすい文になるように言葉を付け加えたり削ったりする。

指導が必要なこと②

パンフレットを見て自分が考えたよさについて書くと、より詳しい紹介文になる。

字数や時間の制限の中で書く経験を重ねる

【書くことに苦手意識をもつ子への対応】

- ① 字数ではなく、文の数を示すようにする。
- ② 「始め—中—終わり」のまとめりごとの目安になる線が入った用紙を使うなど、書かせる用紙を工夫する。

4年生だと自分の考えを15分で300字程度にまとめられるようになってよいですね。

「始め—中—終わり」の三つのまとめりで300字程度書く経験を年間の中で複数回もつとよいです。



目的に応じて、文章を見直す力を付ける

文章を推敲する



一つの段落には一つのことを書く。話の内容が変わったら必ず段落を変える。構成メモの段階で段落がいくつになるか、確認しておくとうい。

【表現上の推敲ポイント例】

- ① 一つの段落では一つのことを述べているか。
- ② 文末表現（常体・敬体）が揃えられているか。
- ③ 主語と述語、修飾語と被修飾語の関係は正しいか。
- ④ 表記上の誤りがないか。

<推敲後>

<推敲前>

わたしは、北山森林公園でできる、親子活動のテーマにぴったりの活動です。親子いしよに、思い切り体を動かせる広場があり、サッカーやドッジボールができます。ボールなどの道具も用意されています。魚つりや魚のつかみどりもできます。（以下後略）

わたしは、北山森林公園でできる、親子活動のテーマにぴったりの活動をしうかいます。一つ目はボール遊びです。親子いしよに、思い切り体を動かせる広場があり、サッカーやドッジボールができます。ボールなどの道具も用意されています。親子でなかよくボール遊びをして遊ぶことができますと思います。二つ目は魚つりや魚のつかみどりで。（以下後略）

自分で読み返して推敲する。

友達に読んでもらい自分が気付かない誤りを指摘してもらう。

推敲ポイント①

推敲ポイント②

推敲ポイント④

推敲ポイント③

低学年から文章を読み返す習慣を付けるよう、間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする場面を設けましょう。



下書きと推敲後の文章を比べるなどの場面を設け、推敲して整った文章になると、自分の考えが伝わりやすくなることを実感できるようにしましょう。